

審議会等議事概要

平成29年度 第2回滝川市保健医療福祉推進市民会議 議事概要

日 時	平成30年 1 月16日（火曜日）午後6時00分～午後7時15分
開催場所	滝川市役所 8 階 大会議室
出席者	男澤委員長、椿坂副委員長、八重樫委員、宮腰委員、草薙委員、齊藤(ひ)委員、坂上委員、岸部委員、齊藤(博)委員、泉田委員、川口委員（欠席：曾根委員） 事務局：国嶋保健福祉部長、杉山福祉課長、黒川介護福祉課長、森健康づくり課長、山本課長補佐、土橋課長補佐、相澤副所長、白石課長補佐、浅山係長、木村係長、庄野係長、加地係長、運上係長、村井係長、橋本主査、澤田主査、松本主査、伊藤主任主事
議 事	1 開 会 2 委員長挨拶 3 議 題 (1)「滝川市障がい者計画（H30～H34）」の素案について 事務局）資料に基づき、説明を行った。 委 員）前期計画との相違点と、重点事項はなにか。 事務局）この計画は多分野にわたっているが、国が障害者権利条約に批准したことによる、権利擁護の部分となる。 委 員）障がい者と健常者、高齢者も含め相互理解を進めるための具体事例を、今後5年間でひとつずつ作ってほしい。 事務局）少しずつ進めていく。 委員長）本計画素案を市民会議として了承することよろしいか。 委 員）全出席委員了承。 (2)「第5期滝川市障がい福祉計画(H30～H32)」の素案について 事務局）資料に基づき、説明を行った。 委 員）共生型サービスとはどのようなものか。 事務局）介護保険又は障害福祉のいずれかの指定を受けている事業所が、もう一方の指定を受けることにより、障がい者が65歳になっても、使い慣れた事業所でサービスを利用できるという仕組み。ただ、事業所の基準等についての具体的な指針がまだ出ていない。 委 員）保育所等訪問支援の部分で、保育所に通う障がい児は、決まった保育所で、専門の保育士が保育するのか。 事務局）各保育所で、在籍している保育士が行う。 委員長）本計画素案を市民会議として了承することよろしいか。 委 員）全出席委員了承。

	(3)「第7期滝川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の素案について 事務局) 資料に基づき、説明を行った。 委員) 先日いきいき百歳体操教室を訪れたが、たくさんの参加者やボランティアの方々がいた。今後もサポーターなどの支える人を増やすことや、活動場所となる施設の整備も考えてほしい。 いろいろな団体の中には、元気で活力のある人材が埋もれている。皆で協力して人材を見つけて、巻き込んでいければよいと思う。 委員長) 本計画素案を市民会議として了承することによってよろしいか。 委員) 全出席委員了承。 (4)「第2次健康たきかわ21後期アクションプラン」の素案について 事務局) 資料に基づき、説明を行った。 委員) 前期と後期の中間評価についてはどうか。 事務局) 朝食の欠食率が悪化傾向等。課題となった項目を抜粋して資料に記載した。評価の結果、改善傾向や悪化傾向のものがあるが、詳細は素案の第3章に記載しているのでお目通しを。 委員) たばこの問題について今後の取り組みは。また、条例制定の動きは。 事務局) 後期の新しい取り組みとして、新成人へのアンケート結果を分析して市民にフィードバックする。乳幼児の受動喫煙防止は健診等で啓発を行う。 条例制定は今のところ考えていない。 委員) 北海道も条例制定の動きはあるが、国の法改正の動向をみて。 委員) 特定健診率はどうなっているか。 事務局) 国の目標には達していないが、毎年伸びている。 委員) 計画の中に健康都市宣言をとり入れてはどうか。 事務局) 10年計画のスタート時点で記載あり。後期では記載していないので、反映させる方向で案を作成したい。 委員長) 本計画素案を市民会議として了承することによってよろしいか。 委員) 全出席委員了承。 4 その他 本会議の会議録確認者を第1回確認者の滝川身体障害者福祉協会会長の川口委員を指名した。 次の会議は1月29日(月)に開催する。 皆様には案として早急に提示する。 委員長) 次回は、会議終了後市長へ答申を行うことで進める。 5 閉 会
会議資料	資料 平成29年度第2回滝川市保健医療福祉推進市民会議議案